

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

## ②施設・事業所情報

名称：	大師駅前 ひよこ保育園	種別：	認可保育園	
代表者氏名：	園長 山本 千由子	定員（利用人数）：	60（67）名	
所在地：	210-0803 神奈川県川崎市川崎区川中島 1-21-4			
TEL：	044-266-1450	ホームページ：	<a href="http://www.hiyoko145.jp/">http://www.hiyoko145.jp/</a>	
【施設・事業所の概要】				
開設年月日	2017年4月1日			
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人 石渡ノ東新家会			
職員数	常勤職員：	17名	非常勤職員：	3名
専門職員	保育士	12名	栄養士	3名
	看護師	0名	調理員	1名
	用務員	0名	子育て支援員	4名
施設・設備の概要	居室数：	保育室7、厨房、職員休憩室、受付、事務室、倉庫7、更衣室3	設備等：	園児用トイレ3、成人用トイレ6、屋上園庭、ELV

## ③理念・基本方針

理念：最善の利益の保証

子供一人一人の【最善の利益】を保証しながら、健康にして、安全で、情緒の安定した日中の生活がおくれ、【健全な心身の発達】が育める環境を創造することにより、他人に優しく、正しい行いを身につける子供の育成に努めます。

目標：愛情豊かに情緒溢れる子

たくさんの愛情を受けた子は、たくさんの愛情を注ぐことができる人になれます。思いやりのある、人の気持ちのわかる人に育てて欲しいと願っています。三つ子の魂百までも・・・この諺を常に意識し、日々、健全で優良な心身の発達を目指し、職員一同、一丸となり保育に取り組みます。

方針：一元的・一体的な保育

安全にして良好な環境を提供するとともに、更には、保護者との密接な連携関係を構築し、相互の頻度の高い情報発信により子供の養護・教育を一元的・一体的に実施し、保育者と共に保護者が子どもの成長の喜び共有できるように努める保育を実施します。

④施設・事業所の特徴的な取組

大師駅前ひよこ保育園は、川崎大師駅から徒歩10分ほどの場所にある0～5歳児を対象とした定員60名の認可保育園です。「愛情豊かに情緒溢れる子」を保育目標とした当園は、2015年に家庭的保育事業（保育ママ）から始まり、2016年には社会福祉法人を設立し、2017年に認可保育園となりました。施設は3階建てであり、1階と2階にある保育室には壁がないため、各クラスの担任同士で連携が常にとれ、異年齢交流も行いやすい造りとなっています。地域交流では、駅前の商店街に協力してもらい、ハロウィンには仮装をしてお店を回ったり、クリスマスにはお店や交番などを訪ねて、おせんべいのプレゼントを渡したりするなど、地域交流をしながら季節の行事を楽しめる工夫をしています。食事にも力を入れ、子どもたちが食に興味を持って楽しむことができるよう、3～5歳児はとうもろこしの皮むきやそらまめのさやとり、5歳児は園のプランターでピーマンやナス、トマトの栽培などを行い、食育につなげています。食事を通して四季を感じられるよう、季節の食材を選んで提供し、行事食にも力を入れています。また、全クラスで週1回のリトミックを行ったり、2～5歳児クラスでは隔週に専門講師による体操教室を行ったりするなど、子どもたちはさまざまな体験を通して、楽しみながら主体性をはぐくんでいます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年8月29日（契約日）～ 2023年1月13日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0 回（年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

◆子どもたちが自発的に活動できるよう、工夫した環境づくりを行っています

子どもたちが自発的に遊びこめるよう、保育室には遊び場を数か所つくり、いろいろなおもちゃに触れることができるよう工夫しています。また、2階の多目的ホールはゆったりとしたスペースがあり、専門講師による体操やボール投げなど、雨天の日も体を存分に動かしながら、伸び伸びと活動することができます。戸外活動では、遊具のある公園や自然豊かな公園など、近隣にある複数の公園から活動に合わせて散歩先を選んでいきます。そのほか、季節ごとのさまざまな行事や移動動物園、人形劇団を招くなど、子どもたちは異年齢の子どもたちや地域の人たちともかかわりながら、自然と社会性が身に付くよう、職員は工夫しながら保育に取り組んでいます。

◆園長は職員個々の状況に合わせて、働きやすい職場づくりに努めています

園長は職員が効率的な業務を行えるようにするとともに、職員全員の残業時間の削減や休憩時間の確保に力を入れています。園長と主任に気軽に相談できるよう、まめに声をかけ、職員の心身状態や事情等は常に把握できるように努めています。職員のスキルや全体のバランスを考慮し、職員間の連携がうまく回っていないと判断した際には、補助者を充てるなど柔軟に対応しています。介護や通院などで調整が必要な場合はシフトを調整します。このように、園長はワーク・ライフ・バランスに配慮し、職員全員が長く働きやすい環境になるよう、リーダーシップを発揮しながら職員の就労状況に配慮しています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園後5年を経過し、初めて実施した福祉サービス第三者評価への保護者の皆様、職員のご協力に深謝申し上げます。

日常の保育においては、常に《理想の保育》に向けて取り組んできておりますが、保護者の皆様の視点、園関係者の視点、そして第三者評価機関の視点の差異が明らかになったことで、《理想の保育》への道がより明確になりました。

つきましては、指摘された諸事案に対し視野を大きく広げ、取り組みを一層活発化していくことを、今後の保育の指針の一つとしていきます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり